

nouvelle Fontaine

発行日 2025年1月25日

発行 岸和田文化事業協会

〒596-0073 岸和田市岸城町5-10
岸和田市立自泉会館内

TEL/FAX 072-437-3801

Email: fontaine@sensyu.ne.jp

https://jisen.jp

自泉会館のピアノと共に

ピアノ調律師 山中 勝秀
山中 朋子

私は自泉会館のグランドピアノの専属調律師として、長年にわたりピアノの保守点検とコンサートの調律を担当させていただいています。

コンサートやピアノの発表会では、出演者は何か月も前から練習を重ね、それ以外にもプログラムを作ったり、チケットを販売したり、たくさんの準備と取組みがあります。その一番最後にホールのピアノの調律をし、演奏・準備・ピアノ、すべてがベストな状態になったところで、お客様をお迎えます。

自泉会館に来られるお客様、コンサートに出演される方、皆様がまず、この会館の建物の美しさに感動されます。そしてコンサートが始まると、ピアノの音の美しさに感動されます。

ピアノという楽器は、今から300年以上前にイタリアで前身のチェンバロから改良され、弦を打つ楽器として誕生しました。当時のピアノは鍵盤の数、設計、材料事情等から、1回弾く毎に調律が必要で、所有者が独自で行っていました。ギターのような感じですね。しかしその後の産業革命によりピアノ作りは劇的に変化し、鉄骨が組み込まれ弦の製造も確立されました。現代のピアノはコンピューターに蓄積された膨大なデータを駆使して設計され、材料の選択、品質維持の管理の上、生産されています。



エラール（産業革命の頃につくられたピアノ）

しかしながら電子楽器とは異なり「継続的に手をいれながら」使用する、という性質の楽器です。

電子ピアノは、本体に取り付けてあるスピーカーからピアノそっくりな音が出てくるといいますが、本物のピアノは演奏することにより、その体全体、脚の先までを大きく振動させて、その場にある空気も全て振動させます。その空気の振動は大きな風となり、客席に届く。という仕組みです。

「継続的に手をいれながら」というのは、ピアノを何十年と良い品質（弾き心地やピアノの鳴り響き方）で維持する為の定期的な保守点検。また発表会、コンサート等ステージで演奏する為の調律をピアノ調律師に委ねる、という事です。

ピアノは大変高い能力を持つ楽器です。その日の温度湿度で、音色や音程、タッチの重さ、響き方まで変わりますが、コンサート当日には私たち調律師は、その日のピアノの一番良い状態を探し出し、一番良く鳴り響く音を作り出し、ピアノの振動が大きな風となってお客様の元へ感動と共に届く事を祈りながら、調律をしています。



クリストフォリ
（ピアノとして初めて誕生したもの〈復元品〉）

日本の伝統芸能 『講談』を 泉州岸和田に 根付かせたい

講談師 旭堂 南舟



撮影：桂 咲之輔

講談師の旭堂南舟(きょくどう なんしゅう)と申します。2008年3月旭堂南左衛門に入門し、今年で18年目になります。

十代の頃から落語が好きで、落語会に行ったり休日は落語家名鑑を一日中観たりしていました(当時講談は難しいと勝手なイメージを持っていて、聴いていませんでした)。

学校を卒業し会社員として働いていた2002年、英会話のECCが落語教室を始めることを知り、すぐに申し込みました。今までは聴くだけでしたが、教室ではプロの落語家さんに教えていただき、覚えたネタを発表会やボランティアで老人ホームとかマンションの集会所で落語をしていました。

2007年4月にECCが講談教室を開講することになり、その講師が旭堂南左衛門でした。落語教室に通っていた時、授業が終わってから講師の桂福車師匠と生徒でよく飲みに行っていました。その時、福車師匠から面白い楽屋話をたくさん聞いていましたが、その中で「南左衛門兄さんはホンマおもしろい」と言っていたのが印象に残っていて、そんなに面白いのかなあという気持ちで講談教室に通うことにしました。当時、落語教室はすごく人気で20人のクラスが3つありましたが、講談教室は1クラスで5人でしたので講談をみっちりお稽古してもらいました。そして南左衛門の講談は面白くてカッコよくドンドンと講談にハマっていききました。

ところが半年後5人いた生徒が3人になり、講談教室は採算が厳しく閉講となってしまいました。講談の魅力にハマり続けたかった私は、南左衛門宅で一对一の個人レッスンをしてもらうことになりました。その頃からプロになりたい気持ちが芽生え始め、個人レッスンから半年後の2008年3月弟子入りをお願いし入門となりました。

会社も退職して弟子修行が始まりました。その頃一門の先生方が岸和田のかじやまち亭で講談会をしており私もお手伝いに行くようになり、東大阪市出身の私は初めての岸和田でしたが、とても温かい皆様で岸和田が大好きになりました。

そして3年が経ち、年季明け(修行期間が終わり講師としてスタート)した2011年5月に岸和田に引っ越してきました。また幸せなことに同じ時期に「ラヂオきしわだ」が開局し番組を持たせていただきました。毎週水曜日お昼12時から13時「旭堂南舟の我武者らぢお」を放送中です。岸和田に住んで14年経ちましたが多くの方に支えていただき感謝しています。14年前岸和田に引っ越してきて大正解でした。

2024年5月に真打昇進披露講談会をさせていただきました。真打になれば「先生」と呼ばれ弟子を取ることができます。真打の講談師として今後精進して参ります。

岸和田の有名な人物や出来事を講談で読んでいき、育てていただいた岸和田に恩返ししたいと思います。

本を出すということ

ライター 齒黒 猛夫



職業はライターで、編集プロダクション・オフィス・ステイクオーの代表です。主に出版物の執筆に携り、これまでに手掛けた書籍などは100冊以上。いまは、その

経験と実績を生かし、出版プロデューサーの仕事も請け負っています。

出版系ライターになったのは15年ほど前。それまではタウン情報誌やミニコミ誌、会社案内や学校案内などの取材と執筆を行ってきました。ライターになったのは25年前、37歳のとき。自営のカレー店を閉業しての転職です。なぜ、ライターを選んだのかというと……。長くなるので、興味のある人は個別にお問い合わせください。

「本を出したい」と思っている人は、少なからずいると思います。けれど、自分の知識や意見を公にするのであれば、必ずしも本である必要はありません。ネットのブログもあるしSNSという手もあります。書籍であっても電子書籍なら、手間もコストもおさえることができ、出版社や取次（問屋）を通さなくても発刊は可能です。

それでも、紙に印刷した本には、これらとは異なる価値があります。1つは「信用」です。本を出すと言っても書店に並ぶまでは、企画立案・編集会議・執筆・修正・デザイン・校閲校正・印刷・輸送・配本と多くの過程を経ています。多くの人が自身の業務を遂行したのちに、本は市場に出されるわけです。

とくに編集者や編集責任者、校閲者に営業担当者は、文章の内容を厳密にチェックします。場合によっては、文章内容が出版社の意向で大きく変更を強いられることもあります。

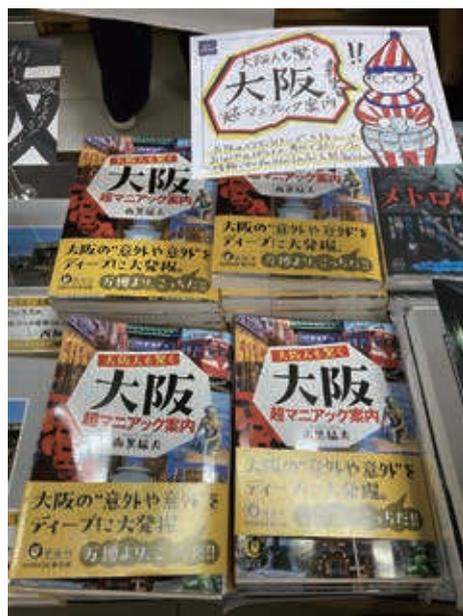
だからこそ、1冊の本には大勢が納得したという信用が生まれます。自分だけで書いたブログやSNS、個人で出した電子書籍との大きな違いです。この信用が、著者の考えや意見の信憑性を高め、実績の裏付けに役立ちます。ただ、出版社も営利を目的とした企業ですから、なかには「売ればOK」という内容の本も存在しますが。

本の価値の2つめは、コレクションとしての楽しみがある、ということです。本棚に並んだ本を見て、読破した数の感慨にふけったり、読んだときの気持ちを顧みたり、ジャンルごとに分けてみたり。コミックの単行本を1巻から順に並べて悦に入った人もいることでしょう。気に入った装丁の本を表向きに並べれば、インテリアにも役立ちます。

その本の中に、自分の名前が背表紙に記された1冊が混じっている。とくに書店や図書館で自分の本が並べられているのを見たときは、近くにいる人や書店の店員さん、図書館の職員さんに言いふらしたくなるほどの感動をおぼえます。

そんな魅力に満ちている「本を出す」という行為。「よし！ わたしも」と思われた方は、こちらもお気軽にお問い合わせください。

(岸和田市出身在住・宮本町町会副会長)



問い合わせ先
合同会社オフィスステイクオー
info@take-o.net

Cultural Hot Spot In Kishiwada

岸和田の文化ホット情報

やさしいスペイン語を学習しましょう!

大宮地区公民館 スペイン語講座 塩屋 裕



「どうしてスペイン語を学習したんですか?」とよく質問されます。その学習原点は中学時代に遡ります。

英語の先生が「日本がこれからの国際社会で存在感を発揮するためには、英語以外の外国語を学ぶことが重要となる時代が来る。その外国語とは、最も多くの人が話す中国語であり、最も多くの国で話されているスペイン語である」と。その予言通り、両言語とも現在では国際社会で欠かすことのできない公用語となっています。

時を同じくして音楽の時間に「闘牛士の歌」を声高らかに、歯切れのよい歌詞で歌う機会がありました。この二つの要因が「よし、スペイン語を勉強しよう」という強い学習心を駆り立て、旧大阪外国語大学(現大阪大学外国語学部)で本格的に学習するようになりました。スペイン語の発音は日本語のローマ字読みと殆んど同じなので、外国語の苦手な日本人にとっては、一番学習しやすい外国語です。母音で終わる単語も多いので、日本語? 泉州弁? と勘違いするほど類似している単語も多々あり、全国紙で紹介されたこともあります。

その後、長年海外との繋がり深い鉄鋼関係の輸出業務で培われた語学力を活かして、皆さんと一緒に外国語と世界の文化を楽しく学ぼうという趣旨で、地域公民館で英語とスペイン語の語学クラブが開設され、

爾来30年、現在も継続中です。設立当初より在籍されている方々もおられますので、これが継続の大きな支えと励みとなっています。学習レベルは全くの初心者でも参加できるように毎年アルファベットから学習し、CD付きテキストを使用し、日本文化の紹介、世相を反映した時事用語など継続学習の皆さんにも十分に楽しんでいただいて、その様子がTV取材を通して紹介されたこともあります。

他にも医療通訳や学校教育現場でスペイン語を活かす活動を続けていますが、自分史に残る稀有な実績があります。映画「東の狼」(河瀬直美監督、藤竜也主演)で脚本翻訳の大役を担い、なら国際映画祭でレッドカーペット行進の栄誉を受け、他の多くの著名な監督や俳優さんたちと親しく会えることができたことです。

スペイン語は本当に素晴らしい言語です。ご一緒に楽しく学習しましょう。¡バモス!

クラブ会員募集中!

場 所 大宮地区公民館
日 時 月2回土曜日
午後1:30~3:30

泉州の 近代建築

vol.8

岸和田が誇る歴史。寺社仏閣や城下町はもちろん、趣ある近代建築も忘れてはなりません。その魅力や特徴を、大阪府ヘリテージマネージャーの山岡邦章氏にご紹介いただきます。

岸和田城天守閣復興70年

大阪府ヘリテージマネージャー 山岡 邦章

岸和田城天守閣は復興天守と呼ばれる。この復興とはなにを指すものなのか。荒っぽく説明するとお城には「現存天守」「復元天守」「復興天守」「模擬天守」「天守風」があり、その中の「復興天守」に該当するものだからである。

お城は、江戸時代に建っていたものがオリジナルだとすれば、これが残るものを「現存天守」と呼び、日本国内では「現存12天守」と呼ばれるものがそれにあたる。

「復元天守」は、設計図や絵図・古写真・遺構などを元に、当時の工法・構法を用いて忠実に復元したものをいう。そのうち「外観復元天守」は、同様の資料を元に、鉄骨鉄筋（SRC）などで外観を復元したものをいい、ぱっと見はそっくりというものを指す。

「復興天守」は、天守は過去に存在し、同じ場所に他に現存する城を参考に、またはオリジナルデザイン等で建てられたものをいう。岸和田城はこれにあたる。

復興天守と混同されがちなのが「模擬天守」である。その場所に天守の存在が確認できない、または史実の確定に至らない状態で建てられたものをいう。

そして「天守風」建築物は、上記のいずれにも属さず「城」「天守」などを含む正式名称を持つもの、または天守を模した外観であるものである。さらに「謎天守」なども存在するが、今回は追及しないものとする。いずれにせよ、すべてがきっちりとカテゴライズされるわけではなく、人によって評価が変わる部分を多分に含む。

さて、その中で岸和田城は「復興天守」と呼ばれ、今年には復興70年の記念の年にあたる。昭和29年、ようやく戦争から日本が立ち直ろうとしていた時代、岸和田市民からの請願と寄付を受け復興に至る。オリジナルは文政10年に落雷で焼失してから久しく経ち、正確な絵図もないため、当時の著名な建築家である池田谷久吉のオリジナルデザインで建築された。そのため長らく「鉄筋のニセモノ天守」などと言われ、建物の評価は低いものだった。

しかし近年、泉佐野市で確認された資料に、池田谷久吉と重森三玲と一緒に写る写真があることがわかった。これは天守閣落成記念に、前年にできた「八陣の庭」の中で天



岸和田城施行関係者記念写真 <歴史館いずみさの所蔵>
前列左:重森三玲氏 前列左から3人目:岡部長景氏
前列中央:福本市市長 前列右から4人目:池田谷久吉氏

守閣落成の集合記念写真を撮影しているのだが、その中にその2名が前列に一緒に写りこんでいるのである。これはどういうことであろうか。重森三玲が「庭だけ」の作者であれば、翌年の天守閣落成記念に呼ばれることはないはずである。

以前「ふおんてーぬ80号」で、池田谷久吉と重森三玲の関係性について紹介した。それに加え、庭と天守閣の設計者が天守閣落成の写真に写りこむことは、八陣の庭と岸和田城天守閣は関連付けて設計がなされていると考えられることを補強するのである。

池田谷久吉は、重森に庭を先行して造らせた上で、自身の作品である岸和田城天守閣が建つことにより、池田谷 ⇄ 重森が描いた「今後の岸和田城」の姿が完成したと捉えるべきなのではないだろうか。いふなれば池田谷久吉と重森三玲の両名が思い描いた世界観で、現在の岸和田城は成り立っているのである。

本件はまだ仮説の域を出ないが、そのように考えると、八陣の庭と天守閣の強い関係性についても腑に落ちるといふものだろう。今後も池田谷久吉の残した資料の分析に期待したい。

※ヘリテージマネージャー(地域歴史文化遺産保全活用推進員)とは、地域社会に眠る歴史文化遺産を発見し、保全し、活用して、地域づくりに活かす能力を持った人材のこと(公益社団法人日本建築士会連合会HPより)



Ichigo-Ichien

夢さそう歌を歌いたい



今本 真裕子

日本の心や四季、日本の誇る良いところを美しい日本語で繊細に描いているのが、演歌・歌謡曲の魅力であり、日本各地の土臭さや生活の匂いを感じられるのが、民謡の魅力であると思います。

歌好きな祖母の影響で、私も歌が大好きになりました。中でも、ひとつの作品に触れるだけで、映画を観たような、小説を読んだような、旅に出たような、時代を超えたような…そんな気持ちになれる演歌や民謡が大好きです。そんな作品を歌い継げる歌い手になりたいと思い、メジャーデビューを目指し歌と津軽三味線の勉強をする毎日です。

「たかが歌、されど歌」私の憧れの大好きなアーティストから教えていただいた言葉で、まだまだ未熟な私でも感じる歌の力です。これからどんな未来が待っているのかと思うと不安と期待で胸がいっぱいになりますが、どんなときも感謝の気持ちを忘れず、いつか、私の歌を聴いてくださる方の力に少しでもなれるように、しっかりと精進します。嬉しいとき悲しいとき、楽しいとき寂しいとき、今本真裕子の歌を聴きたいなど、ふと思っただけのような、そんな歌い手を目指して大きくなりたいです。

多くの方々に支えていただいて、本当に幸せです。応援して下さるみなさまに恩返しをして、故郷・岸和田に必ず錦を飾ります！

続けた先に見えるもの



村上 美祐

自泉アーティストバンク

私はピアノを5歳、声楽を17歳の頃に始めました。ピアノは子供の頃から苦手意識があり、声楽も音楽大学入学後も泣かず飛ばずの状態が続いていました。何度も「もう音楽は辞めようか…」と思いました。でもその度に「やめたら全てがここで終わってしまうけど、続けていればいつか形になるかも」とぼんやりと浮かんでくるのでした。

昔から「継続は力なり」「ローマは1日にして成らず」と言ったものですが、大学卒業後、仕事をしながら日々練習をし、レッスンに通い、本番に出る。これらがいかにか大変なことであるか、ようやくその言葉が理解できるようになりました。そして多くの人が続けることができずやめてしまう現実も知りました。

「大変だけど、昔に比べると自分の歌も確実に変化しました。続けていけば少しずつでも力がついてくるはず」そう思えるようになってきました。

私はピアノに対して苦手意識を持っていましたが、一度は中断したものの大学卒業まで続けていました。その結果、今は声楽活動の傍ピアノ講師もしています。続けたからこそ見られる景色があると願って、今後も音楽に真摯に向き合っていきたいと思います。

*岸和田文化事業協会は、自泉アーティストバンクをとおして若い芸術家を応援しています。

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。アンケートにご協力頂いた方の感想を紹介させていただきます。

研修旅行～重森三玲の庭を訪ねて～

日時:令和6年10月14日(月・祝)

行先:和歌山 高野山

参加者数:40人

〈皆さんの声〉

- ◆重森三玲の作庭した庭園が高野山にたくさんあることを知りました。
- ◆奥の院にある岡部家の供養塔も今まで知らずに通り過ぎていましたが、墓碑の葉を見ながら次回もたずねてみたいと思いました。
- ◆寺田家の十三重の塔の立派さには圧巻されました。



第76回自泉フレッシュコンサート

日時:令和6年10月25日(金)午後6時30分

会場:岸和田市立自泉会館ホール

入場者数:36人

〈皆さんの声〉

- ◆秋らしくミステリアスで美しい曲を、ゆったりした気分で楽しませていただきました。
- ◆若たくエネルギッシュな演奏を聴かせていただき、とても良い時間でした。
- ◆力強く大胆で、時には繊細な、このコンサートに来たかいがありました。



文化の日祝典記念事業

みんな大好き!アニソファミリーコンサート

日時:令和6年11月3日(日・祝)午後1時30分

会場:マドカホール 入場者数:144人



〈皆さんの声〉

- ◆楽しかったです。5歳の子どももアップテンポの曲では踊っていました。
- ◆日本の文化となるアニメは「老若男女」喜ばれるものと思います。岸和田市でこのような企画をすることは素晴らしいと思いました。
- ◆素晴らしいかったです。もっとたくさんの人に見てもらいたかった。

令和6年度3館合同事業 第九～市民とともに～

日時:令和6年12月15日(日)午後2時

会場:南海浪切ホール 大ホール

入場者数:744人



リハーサル風景

- ◆合唱団に参加しました。終わった後も第九のメロディが頭の中でぐるぐる回っています。

〈皆さんの声〉

- ◆約170人の合唱団、素晴らしかったです。ここまでの練習はとてつもないんだったことと思います。
- ◆若いオーケストラのエネルギーを感じました。

第77回自泉フレッシュコンサート

日時:令和6年12月20日(金)午後6時30分

会場:岸和田市立自泉会館ホール

入場者数:70人

〈皆さんの声〉

- ◆室内楽のコンサートを気楽に聴く事などなかなかありません。この様な催しはとても嬉しいです。
- ◆音楽の力は人を感動させることが、実体験を持ってよくわかりました。
- ◆とても心温まる美しく清らかな時間でした。ステキな時間をありがとうございました。



第8回自泉クリスマス会 あわてんぼうのクリスマスコンサート

日時:令和6年12月21日(土)午後2時

会場:岸和田市立自泉会館ホール

入場者数:30人

〈皆さんの声〉

- ◆若い人たちに演奏の機会を作ってくださいありがとうございます。
- ◆私もあんな風に弾けるようになります。
- ◆いろいろな演奏を聴くことができ良かったです。素敵なたと時をありがとうございました。



第8回自泉クリスマス会 手作りワークショップ

日時:令和6年12月21日(土)・22日(日)

会場:岸和田市立自泉会館展示室

参加者数:57人

〈皆さんの声〉

- ◆邪念を持たず集中でき、楽しい時間を過ごせました。
- ◆素敵なリースができ、今年のクリスマスが華やかになります。
- ◆手芸が苦手な私でも、こんな素敵な作品ができたこと、先生に感謝です。



第8回自泉クリスマス会 ストリートピアノin自泉

日時:令和6年12月22日(日)午前10時～午後8時

会場:岸和田市立自泉会館ホール

入場者数:89人



〈皆さんの声〉

- ◆こんな素敵なホールでグランドピアノを弾かせてもらえるなんて、贅沢をさせていただきました。
- ◆恥ずかしいけれど念願かなって自泉会館のピアノを弾くことができました。
- ◆2台のピアノがあり、どちらも弾くことができまして楽しかったです。

●漆原啓子 ヴァイオリンリサイタル & 公開レッスン

日時:令和7年2月23日(日)

漆原啓子氏による公開レッスン
13:00~14:15

漆原啓子 ヴァイオリンリサイタル
15:00~16:15(開演30分前)

会場:岸和田市立自泉会館ホール

出演者:漆原 啓子(ヴァイオリニスト)
矢野 雄太(ピアニスト)

入場料:漆原啓子氏による公開レッスン

※レッスン受講者一般募集3名まで
参加費5000円(参加者はピアニスト必要)
受付:1月8日(水)~1月15日(水)
メールまたはファックスにて受付(申し込み多数の場合は抽選)
お名前・住所・連絡のつく電話番号・年齢・簡単な音楽歴・曲目必要
1月22日(水)までに結果をお知らせいたします。
(受講者受付は終了しています。ご了承ください)

※聴講者一般募集20名まで
参加費1000円
受付:1月8日(水)10:00~電話にて。
定員になり次第締め切り TEL 072-437-3801

漆原啓子 ヴァイオリンリサイタル
前売りチケット3000円(当日500円増)
定員80名(未就学児不可)

●第15回フレッシュプレミアムコンサート

未来へ~ここから~

日時:令和7年3月2日(日)午後2時

会場:岸和田市立文化会館(マドカホール)

出演者:竹村 七音 (ピアノ)
平田奈夏子 (ピアノ)
福留あぐり (ピアノ)
大江 留菜 (ソプラノ)
黒田 志帆 (ソプラノ)
安江 優花 (ソプラノ)
森本 優輝 (ヴァイオリン)

前売りチケット:1,000円(当日200円増)

定員:200名



■チケット販売場所

岸和田市立自泉会館事務所

■申し込み・問い合わせ

岸和田文化事業協会事務局まで

〒596-0073 岸和田市岸城町 5-10 岸和田市立自泉会館

TEL/FAX 072-437-3801

E-mail fontaine@sensyu.ne.jp

※事業の詳細・チラシは、岸和田文化事業協会ホームページにも掲載しています。



みんな大好き!アニソンファミリーコンサートより

令和7年度(2025年)(2025年4月~2026年3月)

会員募集

年会費 個人会員(1口) 2,000円 団体会員(1口) 5,000円
家族会員(1口) 1,000円 法人会員(1口) 10,000円
(個人会員の同居家族) 特別会員(1口) 50,000円

入会方法 協会事務局(自泉会館)で直接受付致します。
郵便振込の場合は 口座番号 00970-9-28145
加入者名 岸和田文化事業協会

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで

TEL/FAX 072-437-3801 Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

お知らせ

会員の方は8面に文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務局までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる、当協会主催の事業がたくさんあるなど、ご希望に添えない場合がございます。ご了承ください。
※自泉会館をご利用の際は、咳エチケットにご協力ください。

nouvelle
Fontaine

vol.85

発行:岸和田文化事業協会
発行日:2025年1月25日

編集後記...

昨年は10月末まで半袖で過ごすことができましたが、毎年のように...冬が来ましたね。体調管理が大変な新年です。
(黒木)

◆事務局
〒596-0073
岸和田市岸城町5-10 岸和田市立自泉会館内
TEL/FAX 072-437-3801
Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員 小末もとえ・小木曾由季・黒木幸子
協力 近江和代・本郷元子

<https://jisen.jp>



岸和田文化事業協会

検索

